



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2026年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ケアサービス

コード番号 2425

URL <https://www.care.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 福原 俊晴

問合せ先責任者 (役職名) 経理総務部次長

(氏名) 大和 壽哉

(TEL) 03-5753-1170

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	6,967	—	73	—	121	—	77	—
2025年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益						
		円 錢	円 錢					
2026年3月期第3四半期	20.36		—		—			
2025年3月期第3四半期	—		—		—			

(注) 2025年3月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、前期において連結子会社である上海福原護理服務有限公司を解散したことに伴い、連結財務諸表における同社の重要性が乏しくなったことから連結の範囲より除外し、2026年3月期第2四半期(中間期)より非連結決算に移行しました。そのため、2025年3月期第3四半期の経営成績(累計)及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円		百万円		%	
2026年3月期第3四半期	3,934		2,916		74.1	
2025年3月期	4,110		2,914		70.9	

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 2,916百万円 2025年3月期 2,914百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 錢 —	円 錢 0.00	円 錢 —	円 錢 20.00	円 錢 20.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)				22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 錢	
通期	9,531	—	320	—	371	—	238	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3 Q	4,200,000株	2025年3月期	4,200,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3 Q	406,807株	2025年3月期	406,807株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3 Q	3,793,193株	2025年3月期 3 Q	3,793,205株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料] 3 ページ「1. 経営成績等の概況（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期累計期間の財政状態の概況	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	5
(セグメント情報等の注記)	5
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	5

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期累計期間の経営成績の概況

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、長引く物価高により個人消費には鈍化が見られたものの、景気は小幅ながらも回復が見られました。一方で、米国の通商政策、中東やウクライナを始めとした世界情勢による海外景気の減速懸念への警戒感は依然として高く、先行き不透明な状況が続いております。

介護業界におきましては、食材費や消耗品価格の高騰の影響に加えて、介護を必要とする高齢者に対し担い手が不足していることなどから人件費及び採用コストの上昇が続いており、特に介護人材の採用と定着は、引き続き介護事業者の大きな課題となっております。

このような状況の下、当社は「介護からエンゼルケアまで」の一貫したサービスを提供するための経営基盤の構築を図るとともに事業拡大に努めてまいりました。

当第3四半期累計期間においては、中長期の安定的な事業成長のための体制構築と、将来の競争力を高めるための人材育成に継続的に取り組んでおります。一方で、サービス提供に必要な日用品や備品等の費用は、物価高騰の影響を受け増加しておりますが、購買や仕入に関して総合的な検討を行い、経費削減を進めております。

国内における事業所の出退店状況につきましては、2025年10月にエンゼルケアサービス1事業所を開設し、合計113事業所となりました。また、中国子会社の上海福原護理服務有限公司の清算が結了いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は6,967百万円、営業利益は73百万円、経常利益は121百万円、四半期純利益は77百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (在宅介護サービス事業)

当事業におきましては、デイサービスにおいては、利用者数の純増の伸びが鈍化したことにより売上高は減少しました。訪問入浴サービスにおいては、人員不足により車両稼働台数が減少したため、件数、売上高ともに低調に推移しました。

事業所の出退店状況につきましては、開設及び閉鎖による増減はありません。なお、当第3四半期累計期間においては、訪問入浴事業所3事業所を開鎖、福祉用具貸与・販売1事業所を開鎖しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,882百万円、セグメント利益は180百万円となりました。

#### (シニア向け総合サービス事業)

当事業におきましては、エンゼルケアサービスにおいて、下半期より葬儀件数が増加したことに伴い、当社サービスの利用件数が回復しました。

事業所の出退店状況につきましては、2025年10月東京都中野区に「エンゼルケア中野事業所」1事業所を開設しました。なお、当第3四半期累計期間においては、エンゼルケア事業所3事業所を開設しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は2,084百万円、セグメント利益は417百万円となりました。

### (2) 当四半期累計期間の財政状態の概況

当第3四半期会計期間末における資産合計は、現金及び預金260百万円減少、売掛金29百万円減少等により、前事業年度末と比較して176百万円減少し、3,934百万円となりました。

当第3四半期会計期間末における負債合計は、未払法人税等155百万円減少、賞与引当金119百万円減少等により、前事業年度末と比較して177百万円減少し、1,018百万円となりました。

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、2,916百万円となりました。主な内訳は、資本金205百万円、資本剰余金138百万円、利益剰余金2,721百万円、自己株式△148百万円であります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の業績予想につきましては、2025年11月5日付で公表いたしました「非連結決算への移行による通期個別業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	1,835,031	1,574,956
売掛金	1,428,948	1,399,501
その他	83,233	162,742
貸倒引当金	△265	△413
流动資産合計	3,346,947	3,136,788
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	137,817	131,905
その他（純額）	174,020	191,389
有形固定資産合計	311,838	323,295
無形固定資産		
のれん	583	145
その他	48,824	76,310
無形固定資産合計	49,408	76,456
投資その他の資産		
敷金及び保証金	192,923	190,462
その他	209,868	208,564
貸倒引当金	△311	△1,104
投資その他の資産合計	402,480	397,923
固定資産合計	763,727	797,674
資産合計	4,110,674	3,934,462
<b>負債の部</b>		
流动負債		
買掛金	139,951	141,407
未払費用	285,054	315,823
未払法人税等	164,355	9,289
賞与引当金	154,717	34,961
その他	163,282	226,241
流动負債合計	907,360	727,723
固定負債		
退職給付引当金	251,570	268,437
その他	37,002	22,199
固定負債合計	288,572	290,637
負債合計	1,195,933	1,018,360
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	205,125	205,125
資本剰余金	138,075	138,075
利益剰余金	2,719,813	2,721,173
自己株式	△148,271	△148,271
株主資本合計	2,914,741	2,916,101
純資産合計	2,914,741	2,916,101
負債純資産合計	4,110,674	3,934,462

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	
売上高	6,967,431
売上原価	6,302,839
売上総利益	664,591
販売費及び一般管理費	591,565
営業利益	73,026
営業外収益	
受取保険金	2,057
補助金収入	43,118
その他	3,860
営業外収益合計	49,036
営業外費用	
支払利息	454
事故関連損失	397
その他	155
営業外費用合計	1,007
経常利益	121,055
特別利益	
関係会社清算益	9,570
特別利益合計	9,570
税引前四半期純利益	130,626
法人税等合計	53,401
四半期純利益	77,224

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用につきましては、当第3四半期累計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 当第3四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	在宅介護 サービス事業	シニア向け総合 サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,882,610	2,084,820	6,967,431	—	6,967,431
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,882,610	2,084,820	6,967,431	—	6,967,431
セグメント利益	180,216	417,173	597,389	△524,362	73,026

(注) 1. セグメント利益の調整額△524,362千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△524,362千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

当第3四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	
減価償却費	121,118 千円
のれんの償却額	437